

まちのたから

発見



日野町の広報を“声”でお届けします

朗読ボランティアグループ
「風の声」



▲「みんな読むことが好き」と笑顔でお話していただきました

朗読ボランティアグループ「風の声」は平成6年に結成されたグループで、「日野町声の広報」として「広報ひの」「福祉ひの」「虹のたより」をカセットテープに録音し、目の不自由な方にお届けする活動をされています。

月に1〜2回の録音のほか、小学校や幼稚園で絵本の読み語りや、文化祭などにも参加されています。結成のきっかけは日野町社会福祉協議会主催で開催された「朗読講座」。そのときに参加された方が集まってグループを結成、活動を続けてこられています。21年の間にメンバーの入れ替わりもありま

だきました。また、「皆さんにお届けするので、責任感を持って取り組んでいる。それでも、無理はしないで、お互いが助け合っていくのが大切」と、グループ活動が長く続いている秘訣も教えていただきました。

したが、結成当時のメンバー4人を含め、現在は女性7人で活動されています。毎月録音するまでに、ページの割りふりをおこない、各自で練習をされます。「写真やグラフを伝えるのは難しい」「文章を要約したり説明を加えたり、聞かれる方の事を思いながら、一生懸命考えています」と声だけでわかりやすく伝わるように毎回試行錯誤されています。その分、「広報をしっかりと読むようになり、日野町のことをいろいろ知ることができる。自分自身の勉強にもなっている」「日野町の予算などもわかるようになりました」とお話しした

お知らせ

日野町ホームページに平成27年1月号から、録音いただいた「広報ひの」の音声データを掲載しています。ぜひともお聞きください。*ホームページに掲載しているのは、表紙・特集・まちのわだい・まちのたから発見のコーナーのみとなります。

100歳おめでとうございます

～お体を大切に、いつまでもお元気でいてください～

3月12日、安部居にお住まいの川原みつさんが100歳の誕生日を迎えられ、同月の24日に町長をはじめ、関係者がお祝いに伺いました。

川原さんは、安部居に嫁いで3人の子どもをもうけられましたが、戦争でご主人を亡くし、農業をして女手ひとつで子どもを育てられました。

現在は、新聞を読んだり、畑仕事をしたりしているそうで、昨年は大根を植えられたそうです。

終始笑顔が絶えず、和やかなひとときとなりました。



日野高校の耐震改修工事が完了しました

日野高校の校舎は昭和47年から49年にかけて建設されたもので、現在の耐震基準を満たしていなかったため、平成25年11月から耐震補強の改修工事が行われていました。平成27年2月27日、本館棟の耐震補強の改修工事が終了し、これですべての工事が完了となりました。



▲耐震補強された校舎